

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2021年9月28日発行 (No.13) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

コロナによる現場の実態・事例を緊急募集！

さっそくお寄せいただいた声をご紹介します！

事業所で1名感染者が出たとき、濃厚接触者の特定、所内の消毒、接触者のPCR検査など、4日間、開所することができませんでした。その間、臨時的在宅支援を実施しましたが、職員も検査のため自宅待機となり、自宅から在宅支援を行うことができずやむなく休所しました。日払い制度のため、そのマイナス分をなかなか補うことができません。これが、1名から感染が広がっていて、お休みが長期になった場合を考えると恐ろしくなります。仲間のご家族の職場で感染者が出たときの相談も増えています。相談がある方、相談もなく普通に来て仲間の言葉で初めてわかったこともあり、ご家族の意識の差も大きいと感じます。具体的に「こうしてほしい」を日常的にお伝えしていても、なかなか伝わらない難しさを感じます。また、法人内でショートステイを実施しているのですが、ご家族が感染し、ご本人が濃厚接触者となった方の利用を依頼されたことがあります。ショートステイには防護服等の感染予防の道具がなかったことや、まだゾーニングの検討などをしていない時期だったため、お断りしたことがあります。結局、軽症のご家族が対応されたとうかがいました。いずれにせよ、作業所の職員がショートステイの支援もしていることから、休めないため支援体制も作れなかったと思います。(広島・障害)



●「コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！事例募集中！」

書き込みフォーム

<https://forms.gle/M44xvT4iMxVHujzDA>



●9/22 政府交渉への参加と積極的な発言をありがとうございました！

PCR検査が充実しているの、職員や仲間たちが不安な時はすぐに受検して、と言えるのはありがたいと思っています。また、感染者が出たとき、感染者が少ない時期だったからか、保健所の対応もとてもわかりやすく、ご家族から寄せられた小さな相談も乗っていただき助かりました。感染拡大の時期であればここまでの対応はなかったかもしれませんが、しかし、担当課からの通知をそのまま流している点は困っています。連絡漏れを避けるためなのでしょうが、一つ一つ事業所で読み解く必要があり、見逃したり、重要な情報を取りこぼすのではないかと不安があります。せめて概要をつけてもらえたらと思います。(広島・障害)

運営面の金銭的フォローはぜひお願いしたいです。(コロナに関する休所、緊急事態宣言下の利用控えに関する、こと、など) 実際、小さなヘルパー事業所は利用控えによる閉鎖も増えていると聞きます。ほかには、施設内のゾーニングや予防策に関して、事業所専用の相談体制が欲しいと思います。感染者が出た後の対応は保健所が丁寧にしてくださいましたが、いざというときに感染を広げないための事前の取り組みをしっかり行うことの大切さを改めて実感しました。動画をみて、いろいろ考え検討するのですが、素人考えでやっているのではないかと不安が常にあります。また、感染者が出たという自分たちの経験は、いろいろな場で発信し、「仲間・職員の動線の記録」を提示する必要がある、など共有することができましたが、事前にわかっておけば・・・とも思います。すぐ解決できること、難しいことがあるかと思いますが、ぜひ事業所に対して運営の実態調査を行い、感染予防に対する相談窓口を作っていただきたいと思います。(広島・障害)

デルタ株の猛威で乳幼児への感染が広がり、陽性者が出たことで保健所の濃厚接触者の範囲がかなり多くなり、親に2週間以上休んでもらいました。幼児がマスクをしても身体接触が多いので濃厚接触者の定義から外しにくいと言われ、朝夕の合同保育が避けられない中、次も陽性者が出たらまたたくさんの人に休んでもらわねばならず、ストレスが掛かります。また保護者自身の体調不良時の受診意識が低いと家庭内感染になり、結果保育園でのクラスターのきっかけになるので、その意識改善を今後もっとしていかなければなりません。他園での効果的な対処や工夫などがあれば知りたいです。(大阪・保育)